

# 大地震想定での避難訓練 及び園児引き渡し訓練



10月19日（金）に、南海トラフ型の大地震を想定した避難訓練及び園児引き渡し訓練を行いました。非常ベルが鳴った後、「大きな地震が発生しました。お友だちは落ち着いて安全な場所に避難しましょう。」という放送で、子どもたちは一斉に机や椅子の下に隠れて身を守り、揺れがおさまるのを待ってから、担任教師の指示に従って速やかに園庭に避難をしました。その後、園長先生や担当教師からの話を聞き、全員で「お・は・し・も」のお約束について確認しました。二次避難の後、園庭に戻ってきてからは、非常食のおにぎりを食べる訓練も行いました。

今年も、隣接の大分保育専門学校の学生や先生方々に避難時の誘導や負傷者対応などサポートして頂き、一斉メールを利用した、保護者の方への引き渡し訓練も行いました。今年7月の西日本豪雨や、北海道胆振地震など、毎年多くの災害が発生している中、今回の避難訓練を通して、日頃からの防災への備えや防災意識を持つことの重要性を改めて感じました。今後も、地震や火災などに備えた安全教室や、年に一度の大規模な避難訓練も続けて取り組んでいきたいと思っております。



## ～非常食～

- アルファ化米に水を入れて1時間で戻します。園児と職員分の約250個をおにぎりにしました。衛生面を考慮して、マスクと手袋を着用して作業し、一つずつラップに包んで握りました。
- コップ1杯ずつの水も用意しました。



## ～簡易トイレ～

- 断水でトイレが使用できなくなったことを想定して、えのくまファームの一角に簡易トイレをバスの先生が作りました。

「おいしい!」と言いながら、大きなおにぎりも、ほとんどの子どもが最後まで食べることができました!



大分保育専門学校の学生の皆さん、先生方  
ご協力ありがとうございました。

